

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【公開番号】特開2019-88411(P2019-88411A)

【公開日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2019-022

【出願番号】特願2017-218500(P2017-218500)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月4日(2020.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域の所定位置に設けられ、遊技球の入球が抽選の契機となる始動口と、

前記始動口への入球を契機として取得した抽選値に基づいて当否判定を実行する当否判定手段と、

前記当否判定の結果を示すための特別図柄が変動表示される特別図柄表示装置と、

前記特別図柄の変動時間がそれぞれ定められた複数種の変動パターンから前記当否判定の結果に基づいていずれかを選択する変動パターン決定手段と、

前記抽選値をその当否判定に対応する図柄の変動表示開始まで所定数を上限個数として一時的に記憶する保留制御手段と、

前記当否判定の結果が当りであった場合、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

前記特別遊技の終了後から所定の終期まで、通常遊技においてあらたに当りを獲得する容易性が通常状態より有利となる特定遊技状態へ移行させる特定遊技制御手段と、

演出内容が表示される演出表示装置と、

前記演出表示装置に表示させる演出内容を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段により決定された前記演出内容を前記演出表示装置に表示させる演出表示制御手段と、

を備え、

前記当否判定手段、前記変動パターン決定手段、前記特別遊技制御手段、および前記保留制御手段は、遊技の基本動作を制御する主制御装置に設けられ、

前記演出決定手段および前記演出表示制御手段は、遊技の演出動作を制御する副制御装置に設けられ、

前記主制御装置は、前記始動口への入球時に前記抽選値に関する情報を前記副制御装置へ送信し、

前記変動パターン決定手段は、前記特定遊技状態におけるその終期に達する最後の図柄変動の場合は、終期変動用変動パターンテーブルを用いることによって相対的に変動時間が長い変動パターンを選択し、

前記演出決定手段は、前記保留制御手段により記憶されている複数個の抽選値が前記特

定遊技状態の終期を挟んで前記特定遊技状態と通常状態とを跨ぐ複数個である状況下、前記複数個の抽選値に対応する複数の図柄変動期間に跨がって一つの図柄変動演出に見せる演出内容であって前記複数個の抽選値に当りが含まれるか否かを示す演出内容である特殊変動演出の表示を決定可能であり、

前記演出表示制御手段は、前記特殊変動演出の表示が決定された場合、前記特殊変動演出が表示されることとなる複数の図柄変動期間に跨がって一回の演出図柄の図柄変動を表示するとともに、前記特別図柄表示装置における前記特別図柄の変動表示に合わせて複数回の簡易図柄の図柄変動を表示する弾球遊技機。